

第10回伊佐市新庁舎建設検討委員会議事要旨

- 開催日時 令和元年8月5日(月) 10時30分～12時00分
- 開催場所 伊佐市役所大口庁舎 大会議室
- 出席委員 小山委員長、丸田委員、中村委員、村田委員、池畑委員、田代委員、曾山委員、前畑委員、緒方委員、柿木原委員
- 欠席委員 轟木委員、岡本委員
- 事務局 財政課富満課長、財政課庁舎建設推進係向園係長、遠矢、田島
財政課財産管理活用係森田係長
- ランドブレイン株式会社 大津、喜多、岩切

===会次第===

- 1 開会
- 2 委員長あいさつ
- 3 議事
 - (1) 副委員長選任
 - (2) これまでの伊佐市新庁舎建設検討委員会等の経過について
 - (3) 伊佐市新庁舎建設基本計画について

===開会前===

【事務局】

庁舎建設はこれまで財産管理活用係で担当していたが、庁舎建設推進係が組織され担当になったことと、担当職員について紹介。

公共施設マネジメントにも関係することから、引き続き財産管理活用係長も同席する旨説明。

【委嘱状交付】

今回から新たに委員となった緒方委員、柿木原委員、前畑委員に委嘱状を交付。

【市長あいさつ】

委員をお引き受けいただいていることに心からお礼申し上げる。

今年度は基本計画の内容を検討いただくべく諮問させていただく。

私たちの街の未来50年100年の中心となる場所になる、十分にご審議をいただければありがたい。

(市長は別の公務につき退席)

===開会===

【委員長あいさつ】

昨年度は基本構想及び建設候補地への答申を行い、今年度は基本計画の内容について検討する。大きな方針としての基本構想を踏まえ、施設の活用方法や規模等について検討していくことになる。昨年度パブリックコメント等での市民参画も考えてほしいという意見を踏まえ、今年度は市民ワークショップという手法を交えて検討していくと聞いている。

=== 議事 ===

(1) 副委員長選任

【事務局】 資料1の説明（委員交替により副委員長の選任が必要であることを説明）。

【A委員】 緒方委員にお願いしたいと考えているが、いかがか。

【緒方委員】 皆様がよろしければお引き受けします。

【全委員】 お願いしたい。

(2) これまでの伊佐市新庁舎建設検討委員会等の経過について

【事務局】 資料3の説明。

【委員長】 昨年度の委員会の進め方等に関する質問はあるか。

【全委員】 内容に関して承知した。

(3) 伊佐市新庁舎建設基本計画について

【事務局】

資料4～6説明。ワークショップの運営や基本計画策定の支援をランドブレイン株式会社にしていただく。今後のスケジュール等について説明してもらおう。

【ランドブレイン】

基本計画の策定に係るワークショップやスケジュール等の説明。

【委員長】

内容に関する質問等はあるか。

【B委員】

ワークショップはふれあいセンター中心の街づくりについて話し合うとのことだが、菱刈地区のことは触れないのか。ワークショップの参加者は同じ人が来る想定か。資料4の11ページの発注者とは誰の事か。

【事務局】

ワークショップでは新庁舎の機能や配置等についてアイデアや意見を出していただくことを目的としている。菱刈地区におけるサービスの低下を招かないような対策については基本計画策定と並行して庁内で検討していきたい。その中で必要があれば意見を伺うことも想定している。ワークショップ参加者は毎回同じ方を想定している。発注者とは伊佐市のことである。

【B委員】

ワークショップの応募者が多かった場合は年齢やバックグラウンド等で選ぶのか。

【事務局】

募集を30名程度としているがなるべく参加してもらえるようにしたい。大幅に超える場合はなんらかの方法で絞れればと考えている。

【B委員】

菱刈地区の検討は市で考えていくということによいか。

【事務局】

ワークショップの中でも菱刈地区の行政サービスについて意見がでてくる可能性はある。菱刈地区での行政サービスをいかに下げないかについては、庁内において同時並行で検討を進めていくので、ワークショップの場で報告したり、意見をいただいたりということは考えられる。

【A委員】

パブリックコメントが19通の77件。同じような規模の自治体と件数の比較をしたこと

があるのか。

【事務局】

他自治体における状況をみると、本市の基本構想のパブリックコメントの数は多い状況であった。

【A委員】

新庁舎建設に無関心な人が多いと感じる。市民により興味をもってもらうためには是非ワークショップに参加いただいた方がよいと考える。新庁舎を建てた後に不満が出ることを軽減させるような手立てが必要である。

【C委員】

ワークショップを実施してもらえることは非常によいことだと考えている。新庁舎建設等の情報については、正しく周知をしてほしい。ふれあいセンター周辺が計画地に決まったと情報が出た際に、公園には建物を建てられないという話をする人がいたが、公園は議会の議決で機能を移せるため、実際に建物を建てられないわけではない。反対のために言っていらっしゃるような感じた。噂が違った方向に行ってしまう。ワークショップに一人でも多く参加していただいて正しい知識、市の考え方を理解してほしい。

【D委員】

今後の新庁舎建設の方針については、議会でも議員に状況を伝えているところである。新庁舎の建設場所については、議員の中には、まだ反対すれば議論が原点に戻るという認識で意見をしている人がいることも確かであり、憂慮している。議会としても正しい情報を伝えられるように配慮していきたい。議会での関心は、菱刈庁舎についてのもも少なくはない。ワークショップについて全てふれあいセンターで計画されているが、いろんな場所で開催して、正確な情報を伝えるということも重要と考えている。

【E委員】

昨年1年間この場で時間をかけて候補地を決めてきたこともあるのでその議論をきちんと伝えるのは大事なことだと思う。ワークショップを開催するだけでなく、ワークショップニュースを発行して参加していない方にも新庁舎の検討状況を周知する手段を整えているところであるが、より効果的にしていくには考えるところもあるかもしれない。

【C委員】

委員会で検討するときずっと考えてきた、既存施設をどう活用するとか、将来に向かって伊佐市全体をどういうふうにしていくかという視点から私たち市民が考えることができるような方向付けができればと思う。

【F委員】

現在、菱刈地区の商店やまちの状況をみると、市街地はどこにあったのかという状況。市の核となる拠点がないといけないと考えた中で、市全体としてはふれあいセンター周辺が妥当であると考えた。新たな核としての新庁舎建設と菱刈庁舎に行政サービスを残すことの議論は分けて検討していくほうがよいと考えている。

【E委員】

まごし温泉など、菱刈の拠点の考え方を示すタイミングも重要と考える。

【A委員】

ワークショップの会場はふれあいセンターとなっているが、2回目以降、菱刈地域で開催する等を検討できないか。

【事務局】

ワークショップの会場は候補地に近い方が望ましいと思っている。市民の方々がアイデアを出し合うことを目的としており、住民説明会ではないので。住民説明会は別で開催することを考えており、その場合は各地区で実施する。

【A委員】

住民説明会は何回するのか。

【事務局】

時期等含めて具体的には決まっていない。市民の方々にも建設地や財源等について様々な意見があると思う。委員会の審議の過程やワークショップの過程について情報提供をする中で様々なご意見に対して丁寧にお話ししていきたい。

【A委員】

パブリックコメントの意見、回答は公表しているのか。

【事務局】

ホームページや庁舎等での閲覧等を通じて公表している。

【G委員】

職員アンケートで職員の意見やニーズを把握してほしい。

ワークショップのチラシに記載されているふれあいセンター周辺の街あるき、点検について、周辺とはどこまで示すのか。

【事務局】

街あるきは施設や道路等を個別詳細に点検するというのではなく、参加者に周辺の街の状況、近くにどんな建物があるか等を把握してもらいたいという意図である。範囲についてはこれから決めていく。

【H委員】

ワークショップと庁内検討委員会の関係について教えてほしい。

【事務局】

基本的には並行して進めていきたいと考えている。利用する市民目線と執務を行う職員目線の両側面から意見・ニーズ等を把握していきたい。必要に応じて双方で意見交換をする場合が必要になる場合もある。それぞれの意向を踏まえた上で、必要に応じて双方で協議する場も設けたい。

【H委員】

要望としては市民の意見を参考にして職員の中でも検討されてその結果を提供していただければ次の話がしやすく食い違いもないのでは。

【事務局】

市民や職員を対象にした議論の前には、それぞれの意見やアイデアを整理し、情報提供させていただいたうえで議論をするように配慮したい。最終的には双方の意向を踏まえたうえで基本計画を策定していきたいと考えている。

【I委員】

ワークショップの対象が16才以上となっているが、全戸配布しても高校生は見ない可能性があるので高校に個別に配布する等子供たちの目に届くようにしてもらえれば。

【事務局】

そのように考えて準備をしているところである。

【委員長】

その他ないか。検討委員会として集まるのは少し先になる可能性があるのですが、気づいた点等は事務局に問い合わせてもらえれば。議題については以上。

===その他===

【事務局】

検討委員会での審議状況の情報公開について、ホームページ等で委員会の審議状況も公開したいと考えている。内容としては会次第、資料、議事要旨。自由な発言を担保で

きるよう委員の名前は伏せる。事前に内容を委員に郵送し確認していただいたうえで公表という形で考えている。

【委員長】このような形での公表でよいか。

【全委員】承知した。

【D委員】

議会でも議員から検討委員会の審議過程の詳細を情報開示すべきではないかという意見もあったが、全員協議会の中で協議し、議事要旨でよいということで議会全体として同意するという結論を出している。

===閉会===